

# 3 石見の道づくり

## 5-1. 山陰道(三隅・益田道路)



### 道路事業の概要

#### ■事業の目的

国道9号 三隅・益田道路(浜田市三隅町森溝上～益田市遠田町間)は、急勾配でカーブが連続する国道9号の問題を解消し、緊急時の代替ルートを確認します。

#### ■計画概要

起 点	はまだ みすみちようもりみぞかみ 浜田市三隅町森溝上
終 点	ますだ とおだちよう 益田市遠田町
延 長	約15.2km
道路区分	第1種3級
経 過	平成23年10月30日都市計画決定 平成24年度事業化 平成27年度工事着手

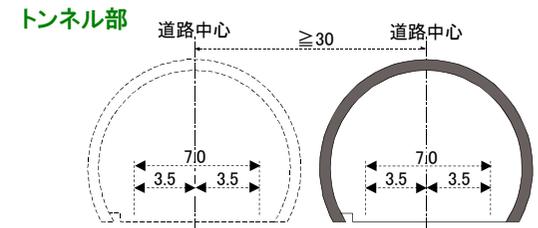
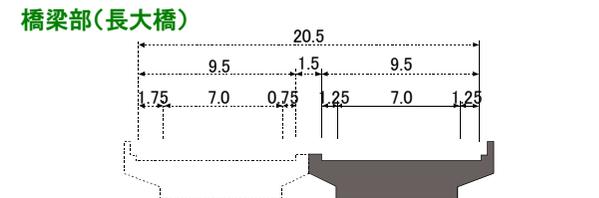
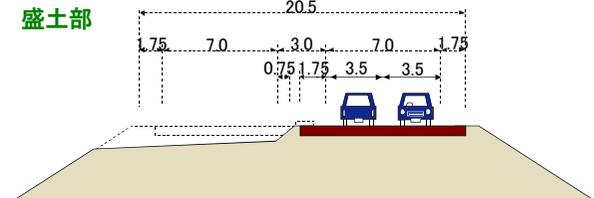


石見三隅ICより益田方面を望む

#### ■路線図



#### ■道路構造



(単位:m)

#### 今年度の事業

平成31年度は、埋蔵文化財調査、用地買収等を引き続き行い、道路改良、橋梁、トンネル等の工事を推進します。

# 3 石見の道づくり

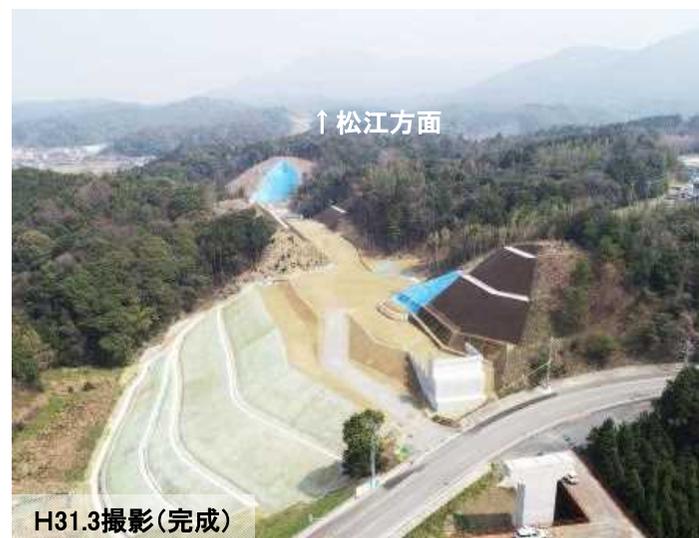
## 5-2. 山陰道(三隅・益田道路の進捗状況)



### 岡見地区改良第2工事



### 上古市地区改良外工事



# 3 石見の道づくり

## 5-3. 山陰道(三隅・益田道路)

み す み ま す だ



### i-Constructionの推進

建設業は、**社会資本の整備の担い手**であるとともに、安全・安心の確保を担う**必要不可欠な「地域の守り手」**です。  
 一方、高齢化等により建設業就業者の大幅な減少が予測され、新規入職者の増加と**生産性向上が不可欠**となっています。  
 このため、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの全ての建設生産プロセスでICT等を活用する「**i-Construction**」を推進し、  
 建設現場の生産性を**2025年度までに2割向上**を目指しています。

#### ■建設業就業者の大幅な減少

【現場技能労働者数の推移予測】

343万人(2015年) ⇒ 216万人(2025年) **約130万人減**

#### ■建設現場を最先端の工場へ

近年の衛星測位技術等の進展とICT化により、建設現場においても**3次元データやロボットを活用した施工**を実現



切土量をシミュレーション

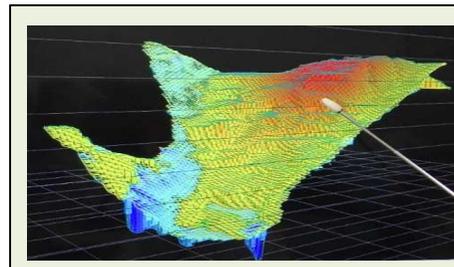
制御装置

写真提供: カナツ技建工業(株)(島根県松江市)  
 ※i-Construction国土交通大臣賞受賞(H29)

**三隅・益田道路の平成30年度の実績**  
 平成30年度完成工事 **31件** の内  
**13件(約4割)**で i-constructionの取組を実施

#### ■i-Construction技術の取組み事例 (岡見IC改良第2工事)

日々の測量集計の管理が自動化される技術を活用し、重機の刃先の座標データと搭載したステレオカメラで計測したデータから**最新の地形データを生成し、3次元での表示を可能**としています。



3D表示画面



i-Construction技術を利用した施工打合せ

#### 【施工業者のコメント】

- ・日々の施工量がリアルタイムに確認できる。
- ・出来高、点検測量作業が省略され、掘削作業の中断が減少した。